

# インドネシア残留元日本兵と 子孫の記録 —1984-2025 1世から4世まで 長 洋弘 写真・文

定価：本体 2,000 円＋税／ A5 判 並製／ ISBN978-4-86722-143-3 C0036 9月下旬刊行予定



アジア・太平洋戦争時、オランダの植民地支配下インドネシアに侵攻し、現地で終戦を迎えた日本軍のうち、苦渋の決断の末、所属する部隊を「離隊逃亡」してインドネシアの独立運動に加わった将兵たちがいた。その数は、インドネシア全土で 900 人にのぼるといわれている。1949 年の独立戦争終結時、約 600 人が戦死、行方不明となったが、現地に残留し各分野で活躍し、子孫を残した人たちもいた。本書はそうして生き抜いた残留元日本兵 28 人とその家族を、写真家・作家である著者が長年にわたり現地で丁寧に取材した、貴重な証言と写真記録である。

## 〔目次〕

まえがき

インドネシア独立戦争と残留元日本兵

- 1 元陸軍中尉 幸松嵩
- 2 元陸軍曹長・小野盛
- 3 元陸軍中尉・乙戸昇
- 4 元陸軍准尉・石井正治
- 5 元陸軍兵長・田中光行
- 6 元陸軍雇員・熊崎省三
- 7 元陸軍軍曹・藤山秀雄
- 8 元陸軍憲兵曹長・小野寺忠雄
- 9 元近衛四連隊伍長・村上金五郎
- 10 元南方屑鉄統制組合嘱託・田中幸年
- 11 元陸軍一等兵・下岡善治
- 12 元陸軍軍属・中川義郎
- 13 元陸軍軍属・上田金雄

- 14 元陸軍憲兵軍曹・衛藤七男
- 15 元陸軍一等兵・相沢喜一郎
- 16 元陸軍飛行隊伍長・高瀬源之助
- 17 元陸軍伍長・石峰秀雄
- 18 元陸軍二等兵・岩元富夫
- 19 元陸軍憲兵軍曹・谷本澄俊
- 20 元陸軍上等兵・岸布留男
- 21 元陸軍上等兵・辛川国次
- 22 元陸軍准尉・喜岡尚之
- 23 元陸軍雇員・田中秀雄
- 24 元陸軍軍曹・梅田実の墓
- 25 元陸軍一等兵・戸室芳生
- 26 元陸軍曹長・藤原浅次郎遺児
- 27 元陸軍軍属 築川七星遺児
- 28 元陸軍兵長・志田安雄

2 世、3 世、4 世を代表して ヨガ・ウエダ

## 長 洋弘 (ちよう ようひろ)

1947 年埼玉県に生まれる。谷川岳の山岳ガイド高波吾策氏に師事。東南アジアや中東などを主に取材。

日本・インドネシア国交樹立 50 年記念メインカメラマンとしてインドネシア世界文化遺産、バリ島などを撮影。大学、市民大学、写真教室などの講師を勤める。文化庁登録写真家。作家。

受賞歴：林忠彦賞、社会貢献者表彰、外務大臣賞（団）、国際児童年記念写真展大賞（作品を国連に展示）、土門拳文化賞奨励賞など。

著書：『帰らなかった日本兵』（朝日新聞社、1994 年）『二つの祖国に生きる—インドネシア残留日本兵乙戸昇物語』（2005 年）『戦争とインドネシア残留日本兵』（1997 年）『ミエさんの戦争』（1993 年）『海外日本人学校—異文化理解の大切さ』（2002 年、いずれも草の根出版会）、『写真集 遥かなるインドネシア』（2002 年）『ばんちょろ よーちゃん 少年編』（2007 年）『バリに死す』（2015 年）『パパ・バリ三浦襄—バリ島を訪れる日本人のための物語』（2011 年、いずれも燦葉出版社）、『インドネシア残留元日本兵を尋ねて』（2007 年）『冒険に生きる—谷川岳・青春・あの時代』（社会評論社、2009 年）『PERJUANGAN IB MIE OGURA』YWP、近刊『小説・末永敏事』燦葉出版社など多数。作品をアサヒカメラ、フォトコン、歴史街道誌などで発表。

東京、横浜、ジャカルタなどで写真展多数。  
収蔵作品歴：『帰らなかった日本兵』80 点（周南市美術館、ジャカルタ日本大使館、東松山ギャラリー）『こーらんの国から』30 点（土門拳記念館）、『子どもが生きてくるとき』（吉見町）

## 直取引代行 トランスビュー

えにし書房の商品は、トランスビューの取扱で納品します。直接取引の条件はトランスビューの商品とすべて同じ（返品随時可）です。

取次ルートの場合は八木書店経由（返品可）です。トランスビューとお取引がない書店様は小社にご連絡ください。ご注文は 1 冊からお気軽に！

貴店名

ご担当

『インドネシア残留  
元日本兵と子孫の記録』

冊